

新型コロナウイルスワクチン接種の取組について

本市では、市民が「混乱なく」「事故なく」「不安なく」接種を受けられるよう、国からのワクチン配分等の状況を踏まえながら、接種を実施しています。

1 実施体制

新型コロナウイルスワクチンの接種に関する執行体制を確保するため、令和3年1月15日に専従兼務職員及びコロナ対策担当兼務職員による集中的な体制を構築し、4月1日には人事異動により本務職員9人の体制としました。

しかしながら、国のワクチン配分の遅れ等に伴い、発送、接種調整等が集中し、業務がひっ迫したことから、7月1日に5人の増員を行い、本務職員14人の体制としました。

2 実施状況

(1) クーポン券の発送

高齢者の重症化リスクや申込・問合せの輻輳等に鑑み、年齢の高い方から順次発送を行い、6月11日にすべての高齢者への郵送を完了しました。

6月15日からは基礎疾患のある方の申出を開始し、高齢者の予約時期を考慮しながら対象者にクーポン券を発送しました。

その後、自衛隊大規模接種センターでの接種、職域接種等の進展を踏まえ、6月25日に64歳～60歳の市民に、6月30日に59歳～58歳の市民に発送し、問合せ状況、高齢者の集団接種の予約確保状況を踏まえつつ7月16日までに16歳以上の市民に発送しました。

7月29日には15～12歳の市民への発送を完了し、11歳の児童については、12歳に達した誕生月の翌月初旬に順次発送していきます。

(2) 住民接種の状況

ア 接種経過

4月19日から入院高齢者を対象に、5月17日から一般高齢者を対象に接種を開始しました。現在は、高齢者優先接種等の予約が概ね完了したことを踏まえ、一般接種に移行しています。

イ 接種数

8月23日午後8時現在の接種数は、次表のとおりです。

総接種回数	1回目接種者数	2回目接種者数
274,661	156,533	118,128
34.4%	39.2%	29.6%

(下段は、対象数(799,272回,399,636人)に対する割合)

ウ 国県の接種状況等

8月22日現在の国内の1回目接種率は人口比で52.3%、県内の1回目接種率は対象人口比45.6%となっています。

エ 高齢者優先接種

国が掲げた「7月末までに希望する高齢者への2回接種を完了する。」という目標については、本市として、接種希望者を高齢者の7割、総接種回数を149,800回と設定し、取り組みました。

その結果、7月31日時点で185,645回、設定回数比123.9%の接種を実施しました。

(3) その他の取組

ア ワクチン配分に係る要請活動

本市の個別接種を主体とする接種方法は、市、接種機関の2段階で在庫を保有するため他自治体の集団接種を主体とする方法と比較して予定在庫が多くなること、他自治体の住民への接種分が在庫として認識されたことから在庫過多とみなされ、国から第11クール(8月2日～16日)においてワクチンの3箱(3,510回分)の配分減が示されました。

そのため、7月9日付で県知事あてにワクチン配分に関する要望書を提出し、国が減した分について県の調整枠により復元することができました。他自治体の住民への接種分についても、第12クール(8月16日～8月29日)において7箱(8,190回分)が補填されました。

イ ワクチンパスポート

7月26日からワクチンパスポート(新型コロナウイルス感染症予防接種証明書)の交付申請を受け付けています。

当面の申請対象者は、藤沢市の接種券で接種した方や医療従事者等で藤沢市の住民登録に基づき接種券付予診票で優先接種した方のうち、入国時の防疫措置が緩和される国、地域への海外渡航予定者となります。

ウ 支えあいの地域づくりに係るワクチン接種

これまでの取組において、「予約方法が分からず接種を断念した」「家から出られず接種できない」等の意見が寄せられていることから、高齢者をはじめ、希望する市民が接種できるよう、福祉部、市民自治部と連携し、一人一人の状況に合わせた相談、支援に取り組みます。

3 今後の取組

(1) 接種計画

国の「ワクチン配分に接種スピードをあわせる」との方針に基づき、8月前半は接種回数を抑制するよう、個別接種の予約上限設定、集団接種の一時休止等を実施してきましたが、未接種者への早期接種に方針が転換されたことから、今後については次のとおり対応します。

また、国庫補助金の所要額調べの対象期間が11月末までとなっていること等から、同時期までの接種完了に向け取り組みます。

ア 個別接種

従来どおり各機関での診療、発熱外来等の対応状況等に応じた接種回数で実施します。7月19日～8月15日の週平均接種回数が25,599回であることから、週当たり25,000回の接種を見込んでいます。

イ 集団接種

9月1日以降、ココテラス湘南、湘南アイパーク、いすゞプラザにおいて接種を実施します。週当たり約3,500回の接種を見込んでいます。

ウ 接種完了見込み時期

市民の接種率を80%、市内外の職域接種における被接種者を6.4万人とした場合、市内での住民接種の必要回数は50.6万回となります。

必要回数から接種済回数と週当たり接種見込計（28,000回）を差し引いていくと、早ければ10月下旬に接種を完了するものと試算しています。

	対象者数	7月まで	8月		9月			10月	
			11クール	12クール	13クール	14クール	15クール	16クール	17クール
後期高齢者	5.7万人	9.3万回							
前期高齢者	5.1万人	6.0万回							
40歳～64歳	15.9万人	2.8万回	5.2万回	4.2万回	5.6万回	5.6万回	5.6万回	5.6万回	5.6万回
12歳～39歳	12.9万人	0.5万回							
合計	39.6万人	18.6万回	23.8万回	28.0万回	33.6万回	39.2万回	44.8万回	50.4万回	56.0万回

(2) 職域接種の促進

ア 基本的な考え方

職域接種では、原則として、企業、大学等が接種に必要な医師、看護師の手配、費用負担等を行います。住民接種における市の負担軽減、接種の加速化に寄与するものであることから、市としても企業等への啓発、職域団体等での接種の促進、医師等のコーディネート等の支援を行っています。

イ 支援事例

これまでも社会福祉法人が運営する障がい者施設での利用者、従事者への巡回接種、学校法人の教職員を対象とした接種実施機関の調整、私立大学からのワクチン提供による公立学校教職員への接種等の相談を受け、支援しています。

(事務担当 健康医療部保健所地域保健課)